

指定校番号	28039	学級活動	児童会・生徒会活動	学校行事	○	別紙様式
-------	-------	------	-----------	------	---	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	福山市立手城小学校	校長	宮本 加代子	生徒指導主事	澤田 実
-----	-----------	----	--------	--------	------

取組事例名 『学習発表会』

取組のねらい『キーワード 一点突破』

2 学期の積極的生徒指導の取組として、学習発表会を選択し、教育資源を集中させた。下記のような資質・能力を向上させ、教育活動全体に展開していくことをねらった。

- (1) 自己肯定感
 - ①大人や上級生からほめられたり、下級生から認められたりする経験を通して、自尊感情を高める。
 - ②合奏など、一人一人が違う役割を分担する体験を通して、自己存在感を高める。
 - ③ねばり強く練習し、演奏技能が徐々に向上する経験を通して、自己効力感を高める。
- (2) 社会的資質
 - ①ルールに則って行動することの大切さを体験させることにより、規範意識を醸成する。
 - ②感性を豊かにすることにより、相手の気持ちを思いやったり、協調したりする力を育てる。
 - ③主体的・協働的に学ぶ経験を通して、コミュニケーション能力を伸長する。

取組の具体的内容『キーワード スマールステップ』

- (1) 目標

学年課題をもとにスローガンを設定した。児童の意欲が継続しやすいように、目標をスマールステップに細分化した。
- (2) 評価

自己指導能力を育成するため、授業の終末には、振り返りの時間を確保した。
- (3) 見える化

各学年の達成状況を図 1 のように体育館壁面に掲示し、系統性を持たせたり、お互いに参考にし合ったりして、組織的に取り組んだ。



図 1 体育館掲示

取組の課題・創意工夫『キーワード 関わり』

- (1) 異学年交流

学習発表会のリハーサルとして、校内発表会を実施した。終了後は、1・6年、2・5年、3・4年の各兄弟学年に対して、良かった所を図 2 のように手紙形式で書いた。児童の自尊感情を高めるため、手紙を冊子として綴じ、お互いに贈り合った。児童は、休憩時間等に、熱心に手紙を読み、喜び合っていた。手紙の中に、同じ登校班やたてわり班の児童の名前を探し、会った時にお礼を言うなどして関わりを深めていった。
- (2) 保護者連携

学習発表会に向けて、リコーダー練習など、家庭学習に取り組んだ。信頼関係を築くため、連絡帳に書いたり、電話連絡したりして、児童のがんばりや成長を共有した。学習発表会終了後は、図 3 のように保護者アンケートを実施し、学級活動や特別の教科道徳で活用した。

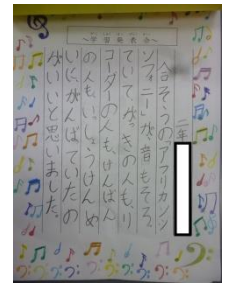


図 2 児童の手紙

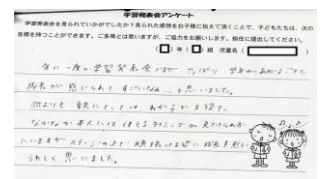


図 3 保護者アンケート

取組の成果（効果）『キーワード 社会性』

図4は、アンケート「チャイム席を守っている」、「だまってそうじができています」について、肯定的回答をした児童の割合の変化を表したものである。

(1) 時間を守る

学習発表会に向けて、体育館と音楽室の教室使用について各学年に割り振った。限られた貴重な練習時間のため、時間を大切にしようとする意欲が高まった。学年で練習するため、他学級に迷惑をかけるはいけないという意識も高まった。

(2) 一生懸命掃除する

目標に向けて粘り強く努力したり自分の出番を黙って待ったりする体験を通して、耐える力が伸長した。また、集団行動を通して、学校や学年・学級への帰属意識も高まった。

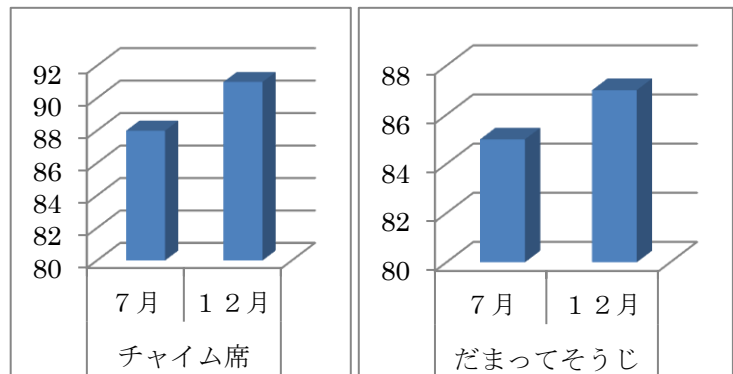


図4 児童アンケート結果

今後の展開『キーワード 広がり』

(1) リーダー育成

児童が主体的に学べるように、活動意欲の高い児童を合唱・合奏リーダーとして指名し、教え合う取組を行った。児童の意欲は、ますます高まり、合唱クラブを結成するまでになった。

今後は、この成果をあいさつ運動などに生かしていく。あいさつリーダーを指名し、学校にあいさつをあふれさせることにより、支持的な学校風土を醸成していく。



図5 リーダーがつけるカード

(2) 地域

学習発表会の成果を生かして、ふくやまジュニアミュージックフェスティバルに参加した。ふくやま芸術文化ホールの大観衆の前で演奏し、児童に大きな達成感を体験させることができた。表彰も受け、自尊感情が高まった。福山コーラスフェスティバルに出演することになり、テレビ局の取材を受けるまでになった。

今後は、活動をさらに広げ、地域の方々を招待する感謝祭で合奏を披露する。また、3学期の取組として、6年生を送る会で学年の出し物を発表し合ったり、卒業証書授与式で感動の歌声を響かせたりしていく。



図6 ミュージックフェスティバル

他校へのアドバイス『キーワード 組織』

本校学習発表会が成功した大きな要因は、学年団で取組んだところにある。それぞれの学級の良さを組み合わせることにより、大きな成果を上げることができた。学年単学級の小規模校においても、学年を組み合わせたり、全校合唱したりする等して、組織的に取り組むことが効果的であると考えられる。